

## タウンミーティングの各自治会別意見(南吐田)

主な意見	回答	即時対応
<p>川スポや体育協会などはボランティアで成り立っており、次の世代の確保が問題となっている。また、スポーツ関係は資格や講習が必要とされており、費用も個人負担でまかなわれている。町として支援してもらえないか。</p>	<p>体育協会や川西スポーツクラブも含め、町内には様々な団体がボランティアで運営されており、同じ問題で悩まれています。行政としてどのような形で支援できるかを検討します。 (社会教育課 追記) 資格や講習の費用については、体協へは町が補助金を交付しています。また、川スポには指定管理委託料の支払いがあるので、その中で対応をお願いしたい。</p>	<p>社会教育課</p>
<p>・体育館や屋内ゲートボール場などの貸出施設の老朽化が見受けられる。適切な修理をおこなうことで、利用者が減らないようにして頂きたい。 ・今どき土のテニスコートは無い。オムニコートにして頂きたい。軟式と硬式で管理を分けているが無駄が生じているのでは。</p>	<p>体育館や屋内ゲートボール場の劣化(雨漏)については、ソーラー設置時に調査したが雨漏の報告は有りませんでしたので、状況を確認した上で対応を検討させていただきます。 (社会教育課 追記) 雨漏りについて調査の結果、中央体育館や屋内運動場は雨漏りではなく結露が要因であると判明しています。今後は部分改修並びに換気扇等で対応を行っていきたくと考えています。 テニスコートについては、体協テニス部と今後について対応を検討していきます。</p>	<p>社会教育課</p>
<p>・天理王寺線の歩道、道路排水等に雑草及び雑木が茂っており、歩道が歩けない状況になっている。 ・草が繁茂している街に人は住まない。県道は県管理かもしれないが、町全体の環境への取り組みとして、町の間接的関与も必要と思う。自治会も協力するので町も積極的に動いてほしい。</p>	<p>管理区分が違う場合であっても、町も積極的に関与するように努めます。 (産業建設課 追記) 町内県道の天理王寺線は7/12~22、大和中央道は7/23~30、大和郡山広陵線は8/11に除草されています。(中和土木に確認済み) 雑木については所有者に適正管理を依頼します。 (中和土木回答)7~8月を目途に除草します。</p>	<p>産業建設課</p>
<p>将来を担う子どもたち・教育に力を入れて頂きたい。</p>	<p>教育においては就学前教育が大切であるという研究レポートもあり、幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続を目指す「幼小連携」を県と併に取り組んでいます。また、施設整備については、幼稚園のプールなどを改修し、その他も順次取り組んでいく予定です。 (教育総務課) 学校における少人数学級制や少人数指導制そして複数担任制などを導入し、学習指導を行うと共に放課後においては本課が学習支援員と共に学習支援活動を行っています。また、小学校では放課後において補充学習などを行い、基礎学力の定着を図っています。 学習環境の整備においては、幼稚園校舎における長寿命化策を検討すると共に、各教育施設における空調の設置を順次検討していきます。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>寺川に水位計が設置されインターネット上で確認できるようになったが、秦庄のように避難判断水位の基準を設けられないか。</p>	<p>以前から奈良県へ陳情しており、早期実現できるよう引き続き陳情します。 (中和土木回答)秦庄と同様に避難判断水位が設定されインターネットで確認できます。</p>	<p>総務課</p>
<p>企業誘致で今の倍以上の企業用地の拡幅を予定されているが、用地造成による内水問題で南吐田が一番影響を受ける。内水対策は十分に考えて頂きたい。 また、企業誘致を進めるに当たり、内水・振動・騒音・道路交通など環境アセスメントを実施し、周囲の環境保全について十分に配慮して頂かないと同意できない。</p>	<p>企業誘致については、現時点ではエリアを決める段階で事業の詳細は決まっています。今後事業を進める中で頂いた意見には十分配慮します。</p>	<p>総合政策課</p>
<p>人口減少が進む中、行政の税収入も減少していく。将来の税金、保険料、水道料金をどのように考えているか。</p>	<p>今後、税率の引き上げをおこなうことは考えていません。また、人口が減少した時を考え基金を積み立てているため、当面は凌げると考えています。将来を見据え、企業誘致を進めることで雇用を生み出し人口増加につなげたいと考えています。 水道料金についても、県水直結とすることで、維持管理費の軽減を図り、住民負担を減らすことを考えています。 介護保険や国民健康保険は、地域の利用状況に応じて住民負担が変わってくるので、町の財源を投入するかの検討は今後考えていかなければなりません。 (上下水道課 追記) 県営水道との直結配水や配水地の集約など施設の共同化を軸とした広域化を図ることで、今後の給水原価の上昇を抑制していきます。</p>	<p>税務課 住民保険課 長寿介護課 水道課</p>

主な意見	回答	即時対応
<p>成熟した国は人口が減っていく、都市部であれば人口が集中するかもしれないが地方にあたる川西町は、人口が増えないと思って施策を立案していく必要がある。 会社でも利益が出なければ内部を締めていく。川西町も職員や議員の数を減らすなど、まだまだ削る部分がある。</p>	<p>将来人口に合わせた効率的な人員配置を考えています。また、節約できた財源は駅前整備などに充てていきたいと考えています。</p>	<p>総務課</p>
<p>民生委員はかつて全自治会に配置されていたが、今は3つの吐田で一人の配置になっている。これからの高齢化社会を考えると民生委員に頼りたい。なぜ人員が減らされたのか。</p>	<p>(自治会長) 法律で世帯数に応じて定数が定められており、南吐田の枠が他の世帯数の多い地域に充てられたと聞いています。自治会の役員会でも話題になり、民生委員の役割を自治会の役員で担うことも今後検討していく必要があると考えています。 (健康福祉課 追記) 民生委員・児童委員の定数は、厚生労働大臣の定める基準に従い、都道府県知事が区域ごとに、その区域を管轄する市町村長の意見をきいて、これを定める。(民生委員法第4条)とされており、その基準は、70から200までの間のいずれかの数の世帯ごとに民生委員・児童委員1人と定められております。現在、奈良県では200に近い数字で民生児童委員を1人と定めており、川西町でも187に1人となっております。民生委員・児童委員の定数については、民生委員・児童委員さんや自治会さんの意見を参考に、奈良県知事に申請します。</p>	<p>健康福祉課</p>